

【先週のメッセージより】

「ネヘミヤの祈りから学ぶ」

ネヘミヤ1章～2章8節



バビロン捕囚で遠く祖国を離れ、奴隷状態が続いていたユダヤ人達であったが、ペルシャ王クロスがバビロンを滅ぼすと、クロスはユダヤ人達に対してユダヤへの帰還を許可した。第一陣は前537年頃、ゼルバベルと大祭司ヨシュアに率いられた4万人強の人々であり、様々な困難と妨害の中、ソロモンの神殿に代わる第二神殿を前515年に完成させる。時代は下り、前458年、第二次帰還があり、この時に律法学者エズラがリーダーシップを発揮し、神殿礼拝を整え、律法教育に多くの貢献をした。しかし帰還した民達は尚、妥協的な生き方や周辺諸国からの虐げで苦しい中にあった。ペルシャ王の献酌官を務めていたネヘミヤはユダヤ人達の困難を聞くに及び、自分に何が出来るか、祈り始めるのであった。そのネヘミヤの祈りから多く学ぶことがある。

● 罪の告白の祈り (6節)

ネヘミヤはエルサレムから来た人々からエルサレムの窮状を聞いた時、エルサレムが滅ぼされ、苦しい目に会っている理由は、イスラエル人たちの神に対する罪ゆえであった、と正しく理解し、その罪を昼も夜も告白して祈った。ここに関係ある人たちの罪をその人たちに代わって告白するという執り成しの祈りのパターンがある。

● 約束に立った祈り (8節)

ネヘミヤは旧約聖書のモーセが記した預言の言葉、約束の言葉を根拠に、神に約束を思い出してください、と迫る。神はこのような祈りを喜ばれることを覚えよう。私たちもネヘミヤに倣い、しっかり

と神の命令と約束を心に蓄え、神の約束に基づいた祈りをするように心がけよう。

● 弓矢の祈り (2:4)

ネヘミヤの祈りは具体的だった。自分が王の献酌官で特別な立場にあったことを理解し、王に対して直談判して、エルサレムの再建に取組ませて欲しい、と願うよう、考えていた。彼が王の前に出て酒を出した際、王の方からネヘミヤのことを心配する発言が出、何をしてほしいのか、と尋ねた時、これこそ神からの答えと理解し、感謝とお任せします！という弓矢を射たような短い祈りを神に対してした上で、大胆に王に彼の計画を伝えたのである。

【今週の暗唱聖句】 ネヘミヤ2：20

天の神ご自身が、私たちを成功させてくださる。

● 神に信頼し従う者たちにとり、神は常に最終責任者の立場にあり、最後まで導いてくださる、という大きな安心感がある。ゆえに目の前の不可能に思える困難さえも大丈夫と思えるようになるのである。■

【こども信仰問答】

問4 あなたは、何なにによって、神かみさまを愛あいし、神かみさまの教おしえを行おこなうことを学まなぶことができますか。

答え 聖書せいしょを学まなぶことによつてです。

聖書せいしょはすべて、神かみの靈感れいかんによるもので、教おしえと戒いましめと矯正きょうせいと義ぎの訓練くんれんとのために有益ゆうえきです。テモテ第一三章一六節

問5 聖書せいしょとは何なんですか。

答え 聖書せいしょとは、誤あやまりのない神かみのことばです。

聖書せいしょの預言よげんはみな、人ひとの私的解釈してきかいしゃくを施ほどしてはならない、
 ということです。なぜなら、預言よげんは決けつして人間にんげんの意志いしによつて
 もたらされたのではなく、聖靈せいれいに動うごかされた人たちが、神かみから
 のことばを語かたったのだからです。ペテロ第二一章20-21節■



【先々週のメッセージより】 **主の祈りを実践的に祈ろう！**

私たちの教会では月に何三回くらい「主の祈り」を祈りますが、皆さんは個人的にこの祈りを祈っていますか。私は数日に一回は祈りますが、特に最初の三つの願いはすばらしい「宣教の祈り」だということをお存知でしょうか。その三つとは、

- 1) 御名があがめられますように、
- 2) 御国が来ますように、
- 3) みこころが…地でも行われますように、

ですが、これらを自分の家族、親族、友人・知人、同胞のために適用することを考え、一つずつの願いについて、例えば

- 1) 私の配偶者の___が御名を崇めるようになりますように、
- 2) 私の子供の___が主イエスを信じて御国に入りますように、
- 3) 私の友人の___が御心を行う人になりますように、

と___に具体名を入れてみると、この祈りが突然、宣教の祈り、とりなしの祈りに早変わりするのです。主の祈りを実践的に、生活の只中で祈って行こうではありませんか。■

